

# 二分脊椎症児童の交互歩行式 長下肢装具の工夫

山崎 広司、平見 啓介、中島 博光  
〔川村義肢株式会社〕

藤岡 真紀  
〔大阪府立母子保険総合医療センター  
リハビリテーション科〕

北野 元裕  
〔大阪府立母子保険総合医療センター  
整形外科〕

---

二分脊椎症の歩行訓練には、以前より装具を用いた療法が行われている。今回我々は、理学療法で歩行訓練をする二分脊椎症による両下肢完全麻痺の児童に対し、交互歩行装具を製作した。交互歩行式長下肢装具には、ARGO、RGO、内側股継手の使用が一般的であるが、本症例は第八胸椎レベル、両下肢完全麻痺の児童であり、体幹の安定と装具の剛性を必要とした為、RGOと内側股継手を使用した装具を製作したが、内外旋の動きを必要以上に制限していた。そこで今回我々は、装具の剛性は維持しつつ股関節の動きにある程度自由度を持たせた体幹付両長下肢装具を製作したので報告する。